

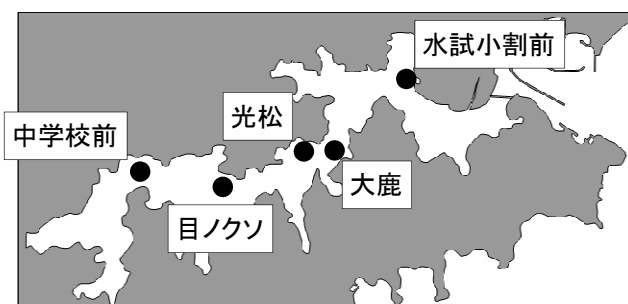
プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年3月28日午後1時半から浦ノ内湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のシュードシャットネラ・ベルクローサが最高1,330cells/ml確認され、被害が想定される細胞密度を超えていました。本種は魚毒性が強く、海面が着色する前から養殖魚のへい死が発生することがあります。実際、水試小割ではカンパチに被害が続いておりますので、慎重な養殖管理をお願いします。その他、有害種のカレニア・ミキモトイ、デイクチオカ属、ヘテロシグマ・アカシオ等も確認されています。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

	水深	シュードシャットネラ・ベルクローサ	カレニア・ミキモトイ	デイクチオカ属	ヘテロシグマ・アカシオ	ミリオネクター・ルブラ
中学校前	0m	810	0	2	1	1
	2m	560	2	4	2	0
	5m	41	4	6	4	0
目ノクソ	0m	1,330	0	5	0	0
	2m	920	0	3	2	0
	5m	66	3	8	2	0
光松	0m	690	0	0	8	0
	2m	810	0	4	5	0
	5m	220	1	7	2	0
大鹿	0m	300	0	4	10	0
	2m	320	0	1	24	0
	5m	240	0	2	29	1
水試小割	0m	610	0	0	2	0
	2m	290	0	0	10	0
	5m	71	0	1	3	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ:
500~1,000cells/ml (魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~数千cells/ml (魚類等のへい死)
- ・デイクチオカ属:
5,000cells/ml (魚類のへい死):
- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml (魚類のへい死)
- ・ミリオネクター・ルブラ:
10cells/ml (貝類の赤変化)